

平成30年度予算見積調書

課室名： 少子政策課

担当名： 手当・ひとり親家庭支援担当

内線： 3337

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業
B127	ひとり親家庭就職・転職応援事業費		一般会計	民生費	児童福祉費	母子福祉費	ひとり親家庭福祉推進事業費
事業期間	平成30年度～平成34年度	根拠法令			宣言項目 分野施策	020415 生活の安心支援	
1 事業概要	ひとり親世帯、特に母子世帯は経済的に厳しい状況にある。平成28年国民生活基礎調査によると、全国の母子世帯の平均年間所得は270万円であり、児童のいる世帯708万円の4割にも満たない。また、母子世帯の母の82%が就労しているが、正規の職員・従業員は44%であり、多くがパートや非正規雇用となっている。経済的な自立には安定した就労が不可欠であることから、正規雇用に結びつきやすい資格取得や、より条件のよい転職を支援するものである。 (1) ひとり親家庭資格取得応援事業 15,038千円 (2) ひとり親家庭就職・転職相談実施事業 4,162千円 (3) 就業支援専門員設置費 7,454千円		5 事業説明 (1) 事業内容 就業支援専門員を中心に相談から職場定着まで切れ目ない支援を行うとともに、ひとり親の資格取得を支援するため、セミナーや看護学校受験対策講座を実施する。 (2) 事業計画 ア ひとり親家庭資格取得応援事業 15,038千円 (ア) 看護学校受験対策講座の実施 13,946千円 看護職はひとり親の就業ニーズが高いことから、看護学校受験を目指すひとり親を対象に受験予備校による実践的な講座を開講し、受験対策相談にも対応することで合格を支援する。 ・会場：県内4か所を予定 ・人数：80人(各会場20人) ・カリキュラム：看護学校受験コース・准看護学校受験コース いずれも週2回(各3時間) 8か月間(6月～1月) (イ) 「資格をとろう！」セミナー(仮称)の開催 1,092千円 歯科衛生士など就職につながりやすい資格の取得を希望するひとり親を対象に、セミナーを開催する。 ・内容：就職に有利な資格の紹介や取得方法、資格取得に向けての勉強・就職までの体験発表など ・会場等：県内4か所を予定 イ ひとり親家庭就職・転職相談実施事業 4,162千円 高等職業訓練促進給付金を受給しているひとり親を主な対象として福祉・医療関係就職相談会を県内4か所で実施し、マッチングを強化する。 ウ 就業支援専門員設置事業 7,454千円 キャリアカウンセラー等の資格を持つ「就業支援専門員」を2人増員し、相談者のニーズに応じたきめ細やかな相談支援を強化する。 ・配置人数 現在 3人(東部中央・西部・北部 各1人) → 5人(東部中央2人・西部2人・北部1人) (3) 効果 経済的に厳しい状況にあるひとり親の安定的な就労を支援することで、その自立が図られる。				
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)							
3 地方財政措置の状況 なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円							
財 源 内 訳							
予算額		国庫支出金	諸収入				一般財源 前年との 対比
決定額	26,654	9,437	798				16,419 26,654
前年額	0						0